

令和6年度環境活動報告

部局名： 医学系研究科・医学部

教育	【医学科】 テュートリアル「地域・産業保健コース(4年生)」等において、健康と環境について幅広く、より深い知識・理解が身につくよう教育、指導を行った。また、令和5年度より開始した「初年次セミナー(1年生)」を今年度も実施し、「環境」をテーマとした講義を行うことで、環境意識の啓発に努めた。 【看護学科】 保健師課程「産業保健(3年生)」等において、職業に従事する人、児童生徒、一般住民における健康と環境について幅広く、より深い知識・理解が身につくよう教育、指導を行った。また、「初年次セミナー(1年生)」において、「環境」に関する講義を実施し、環境意識の啓発に努めた。
研究	【医学科】 「科学的根拠に基づくがんリスク評価とがん予防ガイドライン提言に関する研究」において、喫煙と乳がん罹患との関連を明らかにするために、喫煙状況・喫煙開始年齢、初産年齢・閉経有無等の質問を組み合わせた調査を行った。また、これらの調査結果をもとに、研究班として、喫煙と乳がんの関連性を示す論文を国際誌(NLM)にて発表した。 【看護学科】 ・若者における喫煙・飲酒・薬物使用のプライマリ予防への提言のため、これらの経験者のライフスタイルや心理社会的特性を解明し、プライマリ予防に寄与する要因を特定する。そのために、18-22歳の若者における喫煙・飲酒・薬物使用経験率等を設問に設けた広域調査を実施した。
社会連携	・法医学分野の教員1名が岐阜県の公害審査会委員に、疫学・予防医学分野の教員1名が岐阜県の公害審査会委員及び環境影響評価審査会委員に委嘱され、広く自らの学識・見識を提供することで、地域における公害や環境に係る諸問題の解決に寄与した。
キャンパスプラン	・ISO14001に関して、医学科および看護学科教授会における研修の実施及び各構成員に環境方針周知カードを配布することにより積極的な啓発を行い、また教育訓練再確認シートにより各自の取り組み状況を確認し、また、構成員から環境意識啓発や環境保全に資する活動のアイデアを募る。 ・毎週1回職場巡視を行い、研究室における薬品の管理等、安全・衛生面の遵守及び適切な運用がなされるよう指導を行った。 ・年2回実施する「クリーンキャンパス」に積極的な参加を促し、環境美化と意識の向上を図った。 ・ごみの分別回収を徹底するとともに、リサイクルにも考慮した廃棄物処理を行った。